

ここが聞きたい

一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

市債残高の増加や基金の減少による 財政運営への影響は

借り入れは国の財政措置のある地方債を、基金は予算の年度間調整に必要な額を確保して対応



中神 靖典

自由民主党田原市議団



今後の行財政運営について

問 今後の財政見通しは。

答 令和5年度から令和7年度までの、向こう3カ年の一般会計の予算規模は、令和5年度は実施計画に連動した大規模事業などの影響により、本年度当初予算の284億円から、一時的に313億円程度上昇するが、令和6年度以降は290億円台で推移するものと見込んでいる。

問 令和5年度の予算編成における基本的な考え方は。

答 長期的な展望を見据えながら、喫緊の課題解決に向けても、事業展開を図っていく。DXやGX(※)など新たな行政課題への取り組みを進め、この地域の持続性を高めていく。地域の安心・安全を確保するため、道路や河川などインフラ老朽化対策などの国土強靱化の取り組みを実施する。個性と活力ある「元気な渥美半島」の実現を目指すため、行政サービスの再構築が必要。予算規模の縮小、人口減少が進む中であっても、必要な市民サービスを維持するため、最小費用、最大効果の実現を図るための予算を計上していく。

問 投資的経費の考え方は。

答 地域の活性化や災害対応などに必要不可欠なものと認識しており、国・県の補助制度を活用しながら積極的に推進していく。財源として、市債の借り入れ、各種基金の有効活用により必要な規模を確保していきたい。

問 投資的経費の財源確保をするための市債残高の増加や基金の減少が、財政運営に影響を及ぼすことはないか。

答 地方債の借り入れは、国の財政措置のある地方債を厳選しており、実質的な財政負担の抑制につながっている。また基金は、予算の年度間調整に必要な額を確保した上で、各種基金を活用しながら必要な投資的経費の財源を確保するとともに、その他の事業にも影響が出ないように対応していく。

※GX（グリーントランスフォーメーション）
化石燃料中心の産業構造をクリーンエネルギー中心に移行し、経済社会システム全体の変革を目指すこと